



## 内之浦海岸清掃 実施

9月18日に肝付町内之浦日韓交流推進協議会のメンバーら19名が内之浦海岸に打上げられたゴミ拾いを行いました。

今夏内之浦地区の砂浜にはペットボトル、缶、ビンなどが大量に打ち上げられており、この日は半日かかって500kgを超えるゴミを収集しました。

会長の中野正輝さんは、「昔は帰省の際にこの砂浜を見ると内之浦に帰って来たという実感が湧いていたものです。今日皆で頑張ったたくさん集めました、まだたくさん残っているので、少しずつきれいにしていきたい。」と話されました。

同協議会は平成29年に発足し、内之浦地区を中心にホームステイの受入れなど韓国との草の根交流を続けています。

## 「防災事業及び災害時における妊産婦等への支援に関する協定」締結

10月5日、肝付町は鹿児島県助産師会と「防災事業及び災害時における妊産婦等への支援に関する協定」を県で初めて締結しました。

これにより、県助産師会の協力による充実した防災研修の実施、災害時において妊産婦等の方々が安心できる避難支援体制の確保や適切な情報伝達の推進など様々な効果が期待されます。



▲ 鹿児島県助産師会 宇都会長

## 塚崎古墳群にコスモスが咲きました

塚崎古墳群のコスモスやヒマワリが10月上旬から咲き始め、満開を迎えました。天気の良い日には、たくさんのお花見物で賑わっています。広大な圃場に咲き誇る風景は、一見の価値ありです。また、この機会に塚崎古墳群や肝付町の歴史民俗資料館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



## 戦争遺跡についての勉強会 開催

肝付町観光協会では、ガイド部会肝付ふるさと案内人と、内之浦小学校6年生と合同で、肝付の戦争遺跡についての勉強会を開催しました。

「かごしま戦跡を語る会」の方を講師に迎え、座学と海蔵地区の観測所やふれあいパーク内之浦横にある砲台跡などの現地研修をしました。

1945年8月に終戦になっていなければ、11月にオリンピック作戦でアメリカ軍が上陸して、大隅半島が戦場になっていたかもしれないことや、戦争に向けての入念な準備をしていたこと、内之浦小学校が部隊の本部のような役割だったことを学ぶことができました。

今回受講したガイド部会の受講生は「勉強会の成果を、多くの人に伝えていき、観光資源としても活用したい」などの感想がありました。

